



花尾中学校だより 4号

＜学校教育目標＞

思いやりの心をもつ、自立した生徒の育成

令和7年7月17日 文責 諸藤貴子

一学期をふりかえって

＜子どもたちへ＞

「ありがとう」の言葉は、相手に感謝の気持ちを伝える言葉です。自分を支え、助けてくれた人への感謝を皆さんは感じていると思います。素直な心で「ありがとう」と伝えたり、「ありがとう」の言葉を受け取ったりしたときの気持ちを忘れずにいると、その人の表情や言動が輝きを増します。気持ちのこもったよい表情や言葉は、相手の心に響いています。

先日、生徒会代表の皆さんと話す機会を得ました。時間の制限もあり意見交換はできませんでしたが、参加した皆さんから「人の役に立ちたい」という気持ちが言葉やアンケートから感じとれました。私たちは、かけがえのない『命』を誰かに支えていただきながら生活しています。花尾中の皆さんには、与えられていることが当たり前ではなく、「私たちにできることはないか」という主体的な言動を期待します。

夏休みは、地域の行事もあります。地域社会の一員として何ができるか、考えて行動しましょう。そして、自らの明るい未来のために経験を積み『できること』を増やしましょう。家族の一員としての役割も忘れずに。

終わりに、学年目標・学級目標を集会や学級活動の時間にふりかえったと思います。努力したことが次の学期につながることを期待しています。健康第一で暑い夏を乗り切ってください。部活動生が大会で見せてくれた立派な所作や試合内容について、周囲からお褒めの言葉をいただいています。よくがんばりました。

＜保護者のみなさまへ＞

暑い中、保護者懇談会にご参加いただきありがとうございました。短い時間でしたがお子様の成長を願って懇談されたことと思います。学校は、将来の社会的自立を目指して基礎基本を学ぶ場所です。人とのかかわりの中で、思い・悩み・考えながら子どもたちは日々、成長しています。親は子どものことを大切に思い、子どもはその期待に応えようと努力しています。時には、冷たい態度やきつい言葉もかえってくることもあるかと思いますが、数年先の子どもの姿を想像しながら、「いっしょに考えて歩いていく」としかないと考えます。予測困難な時代を子どもたちも懸命に生活しています。なりたい自分に近づけるよう、学校は応援してまいります。

暑い日が続きますが、保護者の皆様もお体にお気を付けください。二学期もよろしくお願いします。

＜始業式＞ 8月26日（火） タブレット・アダプター回収、その他提出物あり。